



患者さま手作り作品

本庄児玉病院

広報誌第23号

contents

- 新年のご挨拶
- 院内研修・行事
- 作業療法室だより
- 外来患者延数・入院患者数
- 栄養課「クリスマスメニュー」

〒367-0212

埼玉県本庄市児玉町児玉 720

Tel.0495-73-1611

Fax.0495-73-1616

2019年(平成31年)



新年のご挨拶

院長 高野覚

新年明けましておめでとうございませう。昨年十一月にて、当院も開院から十年目に入りまして、これまで当院とお関わりいただいた全ての皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。

当院は、開院以来「病院行事」の充実を心がけており、昨年も、本庄市見玉中学校、埼玉県立本庄高等学校、早稲田大学本庄高等学院、東京福祉大学の皆さまや、多くのボランティアの方々の篤志による慰問演奏等にお越しいただき、この場を借りて改めて深く御礼申し上げます。

当院としましては、病院内において「生もの」のご提供が難しく、患者さまから「お寿司が食べたい」とのお声を頂きましたこと、一昨年末に「夢プラン」という新たな試みにて、板前さんをお呼びして、「お寿司の出張サービス」を企画しましたところ、大変ご好評をいただけました。

今後とも季節ごとのイベントや、患者さまお一人一人のご希望にそった企画をより一層充実に、少しでも入院生活が豊かなものとなるよう努めてまいります。

また、各科非常勤医師による診療や作業療法等の充実、アロマ療法等の新たな非薬物療法の試み、院内研修や地域での講演、学術分野への貢献等につきましても、引き続き力を入れていく所存です。

これからも、患者さまにより良い医療・介護を提供し、地域の皆さまに愛される病院となるよう、理念に掲げております「笑顔と愛の心で全人医療へ奉仕」してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年も皆さまにとりまして幸せに満ちた充実した一年となりませう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





事務長 日根 義彰

明けましておめでとうございます。

本年の一月に、いよいよ当院は開院一〇年という大きな節目を迎えることとなります。これまで支えて頂いた皆様方に、まずは厚くお礼申し上げます。今後も地域医療に微力ながら貢献していく事が当院の最大の務めだと思っておりますので、その役割をしっかりと果たせるよう職員一同努力していく所存です。

今年は平成という時代が終わる年でもあります。この三〇年で日本の高齢者医療をめぐる状況は大きく変わってまいりました。特に認知症の患者さまは年々増加をしており、当院のような認知症専門の病院の役割がより一層重要になる一方、個人の尊厳、ライフスタイルの多様化など、個々人に合わせた看護・介護が必要になってきております。

そうした状況の下、「患者さまの権利と尊厳の尊重」を理念と掲げる当院は、患者さま一人一人の目線に立ち、患者さまが「自分らしくいられる」ための医療の提供を目指してまいります。そして、この目標を通じて、今後二〇年、三〇年と地域を愛し、地域に愛される病院になれるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



総師長 黒井さおり

新年明けましておめでとうございます。

昨年はお世話になりました。

当院は認知症専門病院として開院し、一〇年目となります。

近年、全国的に拘束を無くそうという動きが活発になっていきます。当院でも拘束ゼロプロジェクトチームが発足し、患者さまの権利と尊厳を尊重したよりよい療養環境を提供できるよう、全ての職種全員で取り組んでいます。

また、慰問等で地域の方々にもご協力頂きありがとうございます。総師長としてまだまだ未熟ではありますが、今年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

二階病棟師長 柴崎かおり


昨年、十一月より二階病棟の病棟師長としてお世話になることになりました。柴崎かおりです。よろしくお願いたします。当院は、今年一〇年を迎えます。二階病棟としても「思いやりの看護、信頼される看護、安心の看護」を日々実践し、より一層の充実を目指して、取り組んでいきたいと思っております。

どうぞ今後ともご指導の程、よろしくお願いたします。

三階病棟師長 黒澤 晴美

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。ありがとうございました。

昨年は拘束ゼロプロジェクトチームを立ち上げ、リスクマネージャを中心に安全ベルトについて見直し、安全ベルト使用者を減らすことができました。今年も拘束ゼロに取り組み、患者さまにとって何が必要か考え、安心安全な環境を提供できるように、病棟スタッフが一丸となり頑張りたいと思います。今後ともご指導の程よろしくお願いたします。



作業療法室だより

久しぶりに担当になりました。今回は、最近の取り組みについて対話形式で紹介したいと思います。

※毎度の事ながらユーモアが含まれています☆



〈ボク〉

タブレット
使い始めたよ！！



〈誰か〉

以前、大集団と小集団について書きましたが、今回はある意味小集団の延長になるかと思えます。今回は、タブレットという端末を使っての新しい取り組みについて紹介したいと思います。

?そもそも、タブレット端末とは？

液晶画面に触れて指先で操作できるコンピュータ製品の1つ。(右の写真)

そのような製品のうち、スマートフォンと共通の OS やアプリケーションソフトを使用し…(中略)

ま・まあ・か・かんたんに説明するなら、パソコンの液晶画面の部分を指で操作できる物体みたいなものでしょうか(汗)。



- 〈誰か〉 本日はよろしくお願ひします。早速ですが、新しい取り組みをしていると聞きましたが？
- 〈ボク〉 ええ。タブレット端末をリハビリで使い始めました。それを患者さんが使って脳トレーニングアプリ(ゲーム)をして、「**楽しみながら脳トレ**」をやろうということですね。
- 〈誰か〉 そもそも、なぜ皆さんが慣れ親しんでいないタブレットなのでしょう？
- 〈ボク〉 当初は指先で操作できるというメリットを活かし、麻痺や拘縮を呈した患者さん(活動に制限ある)のリハビリ・活動参加として活用しようとしたことが発端でした。
- 〈誰か〉 現在は主に小集団で使っていると聞きましたが？
- 〈ボク〉 ええ。活動の幅を広げたいと思っていただけ、タブレットに触れたこともない人達にも操作してもらった結果、「面白い」「今度帰るとき買う」と言った言葉も聞かれました。単純に指先だけで思うままにブロックを操作したり、五目並べができるということに感心していたようです。まあ、患者さんからしたら場所を選ばずに遊べることに驚いたようでした。
- 〈誰か〉 他の使い方も模索していると聞きましたが？
- 〈ボク〉 ええ。タブレット端末は、ゲームだけでなく映画鑑賞、音楽、読書、写真などを見たりする事も可能です。ボク自身は患者さんとの脳トレ(現実には遊びや憩いの時間)にも使用していますが、今後は2018年4月から当院でもスタートした「**認知症患者リハビリテーション**」でも写真、動画、音楽などを使った「**回想法**」にも役立てる予定です。
- 〈誰か〉 ありがとうございます。最後になりますが、今後の展望をお聞かせください。
- 〈ボク〉 そうですね。まずは一人でも多くの患者さんに触ってもらい、活動の幅をより広げていければと考えています。



院内行事

児玉中学吹奏楽部慰問演奏会



「ロシア民謡」「森のカルテット」
「夕焼け小焼け」「スタートライン」
など・・・素晴らしい演奏を披露して
くださいました。



～患者さんからお礼の言葉～

- 「今日は素敵な演奏と笑顔をありがとう」
- 「爽やかな演奏が聴くことができてうれしかったです。」
- 「若々しくてうらやましいです」
- 「今日は癒されました。本当にありがとう。」





院内研修

接遇勉強会 ～クレーム対応について～

不満や不快な感情を抱いている患者さま、ご家族さまと接する時は、職員は丁寧で誠意ある態度で対応することが必要です。

日ごろから患者さまに対して礼儀正しい態度や言葉遣いを心がけ不快感を感じさせないようにしましょう。



院内研修

異文化コミュニケーション勉強会



～異文化または異文化の人とコミュニケーションをとる際に
どのような態度で向き合うべきなのかについて～

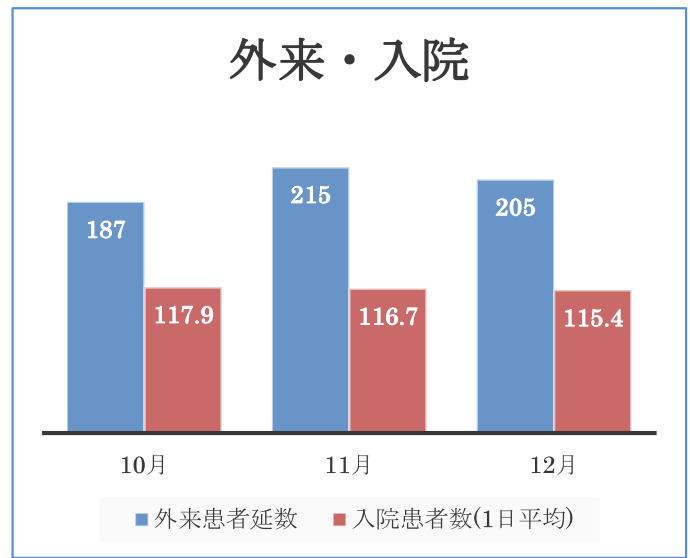


- 自分中心の物の見方にとらわれず、お互いの考えを理解し尊重する
- 外国人の判断を待つ
- 感情をコントロールする力&柔軟な心を持つ
- 相手への共感し、良い聞き役となる
- 自分化・多文化へ好奇心を持って、違いを楽しむ気持ち

上記のアドバイスのどれかを心がけたら、コミュニケーションの究極目標である相互理解へ近づくことができます。



	月	火	水	木	金
午前	高野	高野	齋藤	新谷	新谷
午後	齋藤	高野	齋藤	新谷	新谷



栄養課



クリスマスメニュー



★クリスマスの行事食

- ・ケチャップライス
- ・ミートローフ
- ・ベーコンポテト
- ・キャベツサラダ
- ・コンソメスープ

赤と緑のクリスマスカラーを取り入れ、華やかになるように仕上げました。

ミートローフは形が崩れない程度に柔らかい食感に仕上げ、歯の悪い方でも食べやすいようにしました。また、野菜もたっぷり取り入れ、栄養バランスも考えました。クリスマス会の後にはストロベリーケーキまたはストロベリーババロアとコーヒーを提供しました。ケーキはスポンジといちどクリームが層になったもので、ババロアはいちごソースでアクセントを加えました。患者さまからはおいしかったと喜びの声をいただきました。

理念

患者さまの権利と尊厳を尊重し、笑顔と愛の心で
全人医療へ奉仕します

基本方針

1. 私達は、地域に密着した精神科医療の提供と的確な認知症のケアを実践します。
2. 私達は、患者さまの意思と人権を尊重し、心の通った、愛の心で医療を提供します。
3. 私達は、患者さま並びにご家族の信頼を得、満足度の向上に努めます。
4. 常に医療技術の研鑽と知識の習得に努め、安全で良質な医療を提供します。
5. 私達は、理念達成のため、健全経営の維持向上に励みます。

患者さまの権利

- 当院では、患者さまと信頼関係で結ばれた「患者さま中心の医療」を行うことを目指しています。ここに「患者さまの権利と責任」を掲げ、これを尊重致します。
- ・安全で適切な医療を公平に受ける権利があります。
 - ・人権とプライバシーに配慮される権利を有します。
 - ・検査、治療、その他の医療行為に同意し、選択あるいは拒否することが出来ます。拒否した場合においても不利益を生ずることなく、同様な治療を受けることが出来ます。
 - ・医療の情報を知り、セカンドオピニオンを受ける権利があります。
 - ・精神保健福祉法等の法律に基づいた適切な手続きが保障される権利があります。
- 患者さまは、以上のもと、治療上のルールを守り、医療を受ける権利があります。

一 診療科目

精神科 平日 AM 9:00~12:00
PM 2:00~5:00

TEL 0495-73-1611

FAX 0495-73-1616

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日・祭日
(土曜日午前)

入院随時 各種保険取扱い
完全予約制となっております。

一 診療時間



編集後記

あけましておめでとうございます。今年の干支は亥年ですね。「亥年」は知識を増やす、精神を育てるなど内部の充実を心がけると良い年だそうです。

みなさまにとって健やかで、よりよい一年になりますようお願い申し上げます。



ストリートビューQRコード



施設周辺の道路沿いの風景を
パノラマ写真でご覧いただけます。
こちらのQRコードを読み取って
ご利用ください。

院内の雰囲気もお楽しみ
いただけます！



編集発行

2019年1月

医療法人(社団)明雄会 本庄児玉病院
広報誌グループ

〒367-0212 埼玉県本庄市児玉町児玉 720

TEL. 0495-73-1611 fax. 0495-73-1616